

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年2月19日

計画の名称	1 泉大津市下水道普及率向上整備計画																																						
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象		泉大津市																															
計画の目標	市域全域において汚水の面整備を概成し、健康で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質保全に努める。 夕風地区等において、雨水の排除能力を向上させる。 汐見下水処理場において、合流式下水道緊急改善事業を完了させる。 合流改善事業に伴い汐見処理場から移行した汐見ポンプ場の建築構造物の耐震化を図る。																																						
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を90.5%(H21末)から95%(H26末)に増加させる。 ・夕風排水区整備率を0%(H22)から100%(H24)に増加させる。 ・汚濁負荷量の削減：合流改善面積において、分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下（いわゆる分流式下水道並み）の水質達成のため、BOD放流負荷量を削減する。（136.4ha/136.4ha＝100%） ・公衆衛生上の安全確保：吐口において未処理放流回数を半減する。 ・汐見ポンプ場建築構造物の耐震化：ポンプ施設の建築構造物において耐震化100%にする。																																						
定量的指標の定義及び算式	<table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>当初現況値 (H22当初)</th><th>中間目標値 (H24末)</th><th>最終目標値 (H26末)</th></tr></thead><tbody><tr><td>下水道処理人口普及率 ＝下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)</td><td>90.5%</td><td>92.0%</td><td>95.0%</td><td rowspan="5"></td></tr><tr><td>夕風排水区整備率 ＝（整備済み面積（ha）／雨水整備を実施すべき面積（ha））</td><td>0.0%</td><td>100%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>分流式下水道並のBOD排出量を達成した面積割合 ＝（分流並達成面積（ha）／合流改善対策面積（ha））</td><td>0%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr><tr><td>未処理放流回数の半減を達成した吐口割合 ＝（未処理放流回数半減吐口数（箇所）／現況吐口数（箇所））</td><td>0%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr><tr><td>建築構造物における耐震化完了ポンプ施設の棟数の割合 ＝（耐震化工事完了のポンプ施設の棟数／ポンプ施設の棟数）</td><td>-</td><td>-</td><td>100%</td></tr></tbody></table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	下水道処理人口普及率 ＝下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)	90.5%	92.0%	95.0%		夕風排水区整備率 ＝（整備済み面積（ha）／雨水整備を実施すべき面積（ha））	0.0%	100%	100.0%	分流式下水道並のBOD排出量を達成した面積割合 ＝（分流並達成面積（ha）／合流改善対策面積（ha））	0%	100%	100%	未処理放流回数の半減を達成した吐口割合 ＝（未処理放流回数半減吐口数（箇所）／現況吐口数（箇所））	0%	100%	100%	建築構造物における耐震化完了ポンプ施設の棟数の割合 ＝（耐震化工事完了のポンプ施設の棟数／ポンプ施設の棟数）	-	-	100%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																				
下水道処理人口普及率 ＝下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)	90.5%	92.0%	95.0%																																				
夕風排水区整備率 ＝（整備済み面積（ha）／雨水整備を実施すべき面積（ha））	0.0%	100%	100.0%																																				
分流式下水道並のBOD排出量を達成した面積割合 ＝（分流並達成面積（ha）／合流改善対策面積（ha））	0%	100%	100%																																				
未処理放流回数の半減を達成した吐口割合 ＝（未処理放流回数半減吐口数（箇所）／現況吐口数（箇所））	0%	100%	100%																																				
建築構造物における耐震化完了ポンプ施設の棟数の割合 ＝（耐震化工事完了のポンプ施設の棟数／ポンプ施設の棟数）	-	-	100%																																				
全体事業費	合計 (A + B + C)	2,700百万円 2,700百万円	A	2,460百万円 2,477百万円	B		C	240百万円 223百万円	効果促進事業費の割合 C／(A + B + C)	9.0% 8.3%																													
事後評価																																							
○事後評価の実施体制、実施時期																																							
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期																																
・学識経験者等を評価者として選出し、事後評価を受ける。							・平成28年2月																																
公表の方法							・市のホームページに掲載																																

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水	新設	高石泉大津幹線区域 汚水管渠整備事業	汚水管 φ200mm L=1.6km	泉大津市						65	
1-A-2	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水	新設	和泉泉大津幹線区域 汚水管渠整備事業	汚水管 φ200～800mm L=9.2km	泉大津市						1324	
1-A-3	下水道	一般	泉大津市	直接	-	雨水	新設	夕風排水区 雨水管渠整備事業	雨水管 φ700～□2300mm A=17.26ha	泉大津市						600	
1-A-4	下水道	一般	泉大津市	直接	-	処理場	改築	汐見下水処理場合流改善事業	水処理施設工事	泉大津市						185	合流改善
1-A-5	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水・雨水 ポンプ場	改築	下水道施設長寿命化計画策定及び対策事業	長寿命化計画及び対策	泉大津市						114	長寿命化
1-A-6	下水道	一般	泉大津市	直接	-	汚水・雨水 ポンプ場	改築	汐見ポンプ場耐震化事業	診断、設計及び工事	泉大津市						189	
合計															2477		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			

C 効果促進事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	下水道	一般	泉大津市	直接	-	新設	高石泉大津幹線区域 污水管渠整備事業（支線）	污水管 φ=200mm L=0.6km	泉大津市						5	
1-C-2	下水道	一般	泉大津市	直接	-	新設	和泉泉大津幹線区域 污水管渠整備事業（支線）	污水管 φ=200mm L=2.3km	泉大津市						214	
1-C-3	下水道	一般	泉大津市	間接	個人	-	水洗化工事助成金事業	水洗化促進への助成金	泉大津市						4	
合計															223	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	基幹事業（1-A-1）で実施する污水管渠と接続する污水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-2	基幹事業（1-A-2）で実施する污水管渠と接続する污水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C-3	基幹事業（1-A-1, 1-A-2）で整備する下水道の面整備に併せて、地域住民に各戸水洗化を助成することで公共下水道への接続促進を図り、公衆衛生の向上に寄与する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・平成21年度末比較で約2, 500人が新たに下水道利用可能となった。 ・夕風排水区の17.26haにおいて公共下水での雨水排除が可能となった。 ・全合流式区域から排水される下水処理において汚濁負荷量を削減が行えた。 ・汐見ポンプ場の耐震化が図れた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	95%	目標値と実績値 に差が出た要因	・当初計画から整備区域の追加等があったため。
		最終実績値	95.9%		
	指標②（夕風排 水区雨水整備 率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標③（合流改 善事業：汚濁負 荷量の削減）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標④（合流改 善事業：未処理 放流回数の半 減）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標⑤（建築構 造物の耐震化）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		指標① 市民アンケート調査における満足度でも下水道事業に対する高い評価を得ている。 指標② 道路築造、岸壁整備と臨海部の開発整備並びに港湾の振興発展につながっている。 指標⑤ 更新工事と併せて行え、効果的かつ経済的に実施できた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・汚水整備については概成したと考えるが、未普及地区の解消に向けて引き続き実施していく。 ・夕風地区の整備については、道路計画等に併せて事業を実施し、衛生的な環境、公共用水域の水質保全、浸水防除の役割を果たしていく。 ・公共用水域への水質調査等を継続し、施設の効果と機能確認を行っていく。 ・今回の事業事例を参考に老朽化するその他の施設の耐震化、更新工事を行っていく。					